

防災通信訓練の実施及び公開について ～災害時の情報収集及び提供を円滑に行うために～

帯広開発建設部では、災害時の応急復旧作業の支援をするため、災害対策用ヘリコプター及び災害対策用機械・機器を使用し、災害情報の迅速かつ効果的な収集及び自治体への災害情報の提供を行っています。

この度、芽室町と連携して電気通信機械・機器の操作習熟・技術力向上を目的とした防災通信訓練を実施するに当たり、訓練の一部を公開しますので、お知らせします。

記

- 訓練日時 : 平成29年 7月20日(木) 9:00～12:00
※報道公開は11:00～11:30
- 訓練公開場所 : ① 祥栄橋(芽室町北芽室北二線) 災害想定箇所
及び設置 【衛星通信車(車載型衛星通信装置)設置】
機械機器 ② 芽室町(訓練協力自治体:役場2階会議室及び屋外庁舎駐車場)
【可搬型衛星通信装置等設置】
※別紙3参照
- 参加者 : 帯広開発建設部 職員(電気通信関係等)及び災害協定会社※、芽室町職員
- その他 : ・訓練概要及び訓練全体概要図は、別紙1、2をご参照ください。
・災害対策用ヘリコプターが運航不可の場合は、7月31日(月)に延期。
(7月31日が運航不可の場合は、災害対策用ヘリコプター除きで実施)
・訓練を延期する場合は当部からお知らせしますので、取材を希望される方は、7月18日(火)までに問合せ先へご連絡ください。

※「帯広開発建設部災害対策用機械等の出動に関する協定締結者」及び「帯広開発建設部所管施設(電気・通信施設)の災害応急対策業務に関する協定締結者」

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 帯広開発建設部
施設整備課 課長 谷崎 敏彦 電話 0155-24-4103
課長補佐 古屋 智弘 電話 0155-24-4103

帯広開発建設部ホームページ <http://www.hkd.mlit.go.jp/ob/index.html>



「平成 29 年度 帯広開発建設部 防災通信訓練」概要

帯広開発建設部 施設整備課

1. 訓練実施目的

帯広開発建設部及び被災自治体の災害応急復旧作業を迅速に行うための支援として、災害情報の迅速かつ効果的な情報収集・提供並びに関係自治体への情報提供を行うために、当部電気通信職員等及び災害協定会社の電気通信機械・機器の操作習熟・スキル向上等を目的として防災通信訓練を行うものである。

2. 災害想定（昨年 8 月～9 月の大雨災害を想定）

異常に発達した低気圧の影響で十勝地方は記録的な大雨となり、管内主要河川や支川では水位が急激に上昇した。その影響で河川の数カ所では氾濫が発生し、管内自治体の一部地域では浸水・冠水が発生し、また河川増水による道路橋梁損傷、通行止め等の被災が生じた。

また、河川氾濫や道路橋梁損傷に伴い、電気通信施設の河川及び道路光ケーブルが切断され、河川及び道路 CCTV による監視ができない状況となった。

帯広開発建設部では災害対策本部を設置して、被災状況の把握に努めるとともに、被災自治体（芽室町）に災害情報の提供を行うため、災害対策用ヘリコプター「ほっかい」、衛星通信車（車載型衛星通信装置；Ku-SAT）等を出動させ、迅速な災害情報の収集・提供及び本局とのテレビ会議による情報連絡を行うこととした。

また、光ケーブル切断に伴うネットワーク回線の早期復旧に向けて、光ケーブル接続替えの作業を災害協定締結者（帯広電業協会）に要請し、復旧作業の一連を行う。

3. 開催日時

- ・平成 29 年 7 月 20 日（木） 9：00～12：00*

ただし、報道公開は、11：00～11：30（予備日でも同じ）

※「ほっかい」運航不可時は 31 日（予備日）に延期

- ・予備日**は、7 月 31 日（月） 9：00～12：00

※※ 予備日の予備日はなし。雨天時は「ほっかい」無しで実施。

4. 訓練概要（回線構築・確保）

以下の回線を構築・確保するために、機械及び機器の操作及び設置を行う。

- (1) 衛星通信車（Ku-SAT）の設置、被災（地上）映像の情報収集及び提供

被災現場近くの祥栄橋付近に衛星通信車（車載型衛星通信装置；Ku-SAT）を出動させ、衛星通信回線を構築する。

また、帯広開発建設部及び本局へ被災（地上）映像を伝送し、情報提供を行う。

なお、映像配信はマルチキャスト配信にて行う。

- (2) 災害対策用ヘリコプター「ほっかい」による被災（上空）映像の情報収集及び提供
十勝川流域において複数氾濫した祥栄橋付近の上空から状況把握のため災害対策用ヘリコプター「ほっかい」を出動させ情報収集を行う。
また、帯広開発建設部及び本局へ被災（上空）映像を伝送し、情報提供を行う。
- (3) 可搬型衛星装置（Ku-SAT）等による被災（地上及び上空）映像の自治体への提供
河川又は道路光ケーブルの被災により、防災情報共有システムからの映像提供が不能となった自治体へ、可搬型衛星通信装置（Ku-SAT）及び公共用ブロードバンド移動通信システム（移動局・基地局）を設営し、芽室町と帯広開発建設部間の通信回線を構築する。
- (4) 光回線の迂回の検討及び確保
迂回回線確保のために、接続替えの場所（クロージャー）、芯線を決定する。
平成29年2月に、当部と帯広電業協会とで締結した災害協定に基づき、要請から復旧作業の一連の対応を訓練する。
- (5) テレビ会議装置の設置及び回線確保
帯広開発建設部災害対策本部と本局災害対策本部との迅速な災害状況の提供及び情報共有を行うため、テレビ会議装置の設置及び回線を確保し、情報連絡を行う。
また、本テレビ会議については、芽室町も参加する。

5. 訓練場所【報道公開場所・時間】

- (1) 帯広開発建設部 本部
- (2) 祥栄橋*（芽室町北芽室北二線）【**報道公開；11：00～11：30**】
衛星通信車（車載型衛星通信装置；Ku-SAT）
※ 災害想定箇所
- (3) 芽室町役場 【**報道公開；11：00～11：30**】
- ①屋外庁舎駐車場【可搬型衛星通信装置（Ku-SAT）、
公共用ブロードバンド移動通信システム（基地局）】
- ②役場2階会議室【公共用ブロードバンド移動通信システム（移動局）、
テレビ会議システム、防災情報共有システム】
- (4) 災害対策用ヘリコプター「ほっかい」【ヘリコプターテレビシステム】（職員搭乗）

6. 参加機関

- (1) 国土交通省
- ① 本省 電気通信室
- ② 本局 機械課電気通信官付 各係
- ③ 帯広開発建設部 防災対策官 【2名】
- ④ 帯広開発建設部 施設整備課 電気通信職員等 【10名程度】
- ⑤ 帯広開発建設部 帯広河川事務所 十勝ダム管理支所 機電係長 【1名】
- (2) 自治体
- ① 芽室町 【2～3名】
- (3) 災害協定会社等
- ① 衛星通信車の操作に係る災害協定締結会社【1社】
- ② 帯広電業協会との災害協定締結会社【帯広電業協会加盟の1～2社】

防災通信訓練 全体概要図



本省



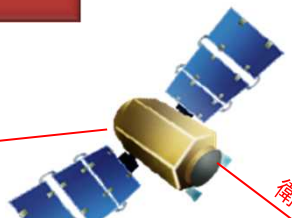
ヘリコプタ
画像受信装置



災害対策用ヘリコ
プター「ほっかい」
(カメラ画像)
【1名配置】



衛星回線(384+768kbps)



衛星回線(384kbps)

衛星回線(1098kbps)

芽室町役場

【5名配置】



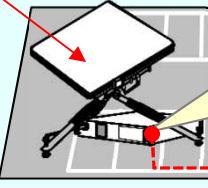
※会議室



テレビ会議
システム
公共用ブロードバ
ンド移動通信シス
テム(移動局)

衛星画像

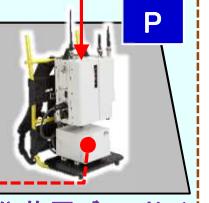
※駐車場



可搬型衛星通信装置
(Ku-SAT)



衛星電話



公共用ブロードバ
ンド移動通信シス
テム(基地局)

防災情報共有
ネットワーク

国土交通省
光ネットワーク

国土交通省
光ネットワーク

災害想定箇所
(十勝川祥栄橋付近) 【5名配置】



衛星通信車(車載型衛星
通信装置、Ku-SAT)



衛星電話

帯広開建(本部) 【2名配置】



※災害対策室



内線電話



テレビ会議
システム

本局



※災害対策室



内線電話



テレビ会議
システム

国土交通省 光ネットワーク

訓練公開場所位置図



公開場所①
祥栄橋
[衛星通信車(車載型
衛星通信装置)]

公開場所②
芽室町役場
2階会議室及び屋外庁舎駐車場
[可搬型衛星通信装置及び
公共用ブロードバンド移動通信
システム(基地局・移動局)等]